

校長室だより 第二号

岡崎市立常磐小学校
令和二年四月二十日

せおと

…浅い川の流れる立てる水の音

今の学校ができること



入学式に美しい鳴き声を聞かせてくれたウグイスの声が、今も聞こえています。最近では、パイ、パイ、パイというホイッスルのような鳴き声も聞こえてきます。ツバメたちも相変わらず体育館の軒下に巣を作り、今年も子育てを始めようとしています。人間の生活は、いつもと全く異なるリズムになっているのに、自然の営みは、いつもの年と変わりありません。

新型コロナウイルス感染症対策のための休業措置が取られる中、学校としてできることを、できる限り行っていきたい。これが校長としての思いです。しかし、子供たちを登校させるとなると、どんな手立てをうったとしてもリスクを皆無にはできません。家から出ないのが一番の方法だと分かっています。考えに考えた末、地域や生活圏の状況を踏まえ、子供たちの生活や心のバランスを整えるうえで必要だと判断し、登校日の計画を遂行することにしました。各ご家庭の考え方も異なることと思いますので、密閉、密集、密接を避ける工夫を示し学校を開



くことで、登校するしないの判断を、ご家庭にお任せします。誠に申し訳ありませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

常磐小ホームページをみてください！



もう一つ、今の常磐小学校ができることとして、ホームページに各学年の担任から、メッセージを送っています。自分の学年だけでなく、他の学年ものぞいてみてください。中には、クイズ形式になっている学年もありますので、図鑑などで調べてみたり、登校したときに先生に尋ねてみたりしてください。学校が再開したときの学習のステップにもなると思います。

なかなかホームページまで見ることは少ないかと思えますし、「ホームページを見てください」ということをホームページの中で言っても伝わりません。(苦笑) ですから、「ホームページを見た人は、周りの人に「常磐小のホームページを見た?」と、つぶやいてください。とてもアナログ的な伝播の方法ですが、少しでも先生たちの発信を受け止めていただければ幸いです。

そこで一句

亀鳴くやホームページのPR

さて、次号「せおと」の発行は、四月三十日を予定しています。はい、今年度は、この校長室だよりを「0」の付く日に発行していこうと思います。次号では、五月以降の予定を、ある程度お示しできるかと思っています。例えば、五年生の山の学習、三年生の交通教室についてなど、新型コロナウイルスの感染状況によって、予定は変更せざるを得なくなるかもしれません。その際も、できることを、できる限りやっていこうと思います。